

株式会社丸八ポンプ製作所

■事業

3Dスキャナ導入による品質体制強化と
生産性向上

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

3Dスキャナ型三次元測定機 VL-350

手押しポンプから出発した「特殊ポンプの丸八」
島根工場を生産拠点に自社製品

【経営理念】

世の中に流体がある限りポンプの需要がなくなるはずはありません。

そして我が社のポンプは産業の心臓です。

丸八ポンプ製作所の使命は、顧客に最適な流体移送方法を提供することにより社会に貢献し、かつ、環境への配慮を心がけ、自然環境と調和した循環型社会の実現に努めてゆくことです。

このため、顧客が抱えている問題の適切な解決方法を提案できる、問題解決型企業を目指します。

そのために、社員は全員がチームとなって、流体移送のプロになるよう研鑽・努力を重ねます。

株式会社丸八ポンプ製作所のルーツは名古屋市にある。1923(大正12)年、創業者が手押しポンプの製造販売を同市で始めて以来、幅広い分野でポンプを作り続けてきた。特徴は「特殊ポンプの丸八」と言われるほど、顧客の要望に沿う特別なポンプを開発・製造できること。固形物を含んでいたり、ジェル状だったり、厳しい条件でも、液状であれば移送が可能だ。食品・バイオや自動車、半導体製造、環境関連など、あらゆる分野のポンプを製造している。

現在は東京都に本社を置き、大阪、福岡など全国計7カ所に拠点を持つ。中でも全体のものづくりの要が島根工場だ。時代につれ、製造工程の部分的なアウトソーシングが増えていたが、「すべてを自社で作りたい」「ものづくりの原点に返ろう」と2007(平成19)年に新設。以来、すべての自社製品を製造している。

吸い込み能力の高いMAPシリーズ
複雑な部品も自社計測で時短と信頼性をアップ

数多い製品の中でも、ステンレス製渦巻きポンプの「MAPシリーズ」は、吸い込み能力の高さが特徴。ポンプ内部で回転し、液体を動かす羽根車(インペラー)が、むき出しになっているフルオープンインペラーを採用しているため、固形粒子を含む液体のスラリー液や、粘度の高い液にも対応できる。

MAPシリーズが進化する中で、これまで二次元だった部品が、三次元の複雑な形状になった。従来の設備では測定が難しいため、「3Dスキャナ型三次元測定機」を導入した。

その結果、自社内で部品の測定が可能になり、開発のリードタイムを短縮でき、さらに、顧客には信頼性の高い測定結果を提出できるため、より説得力を持って製品の良さをアピールできるようになった。



野津工場長



1 3Dスキャナ型三次元測定機
2 MAP型
3 MAP型断面図

大型ポンプの製造でさらにシェア拡大へ
他社のできないことを短い納期で

現在、製造しているポンプは、中型から小型サイズが主流だが、三次元測定機の導入で、大型ポンプも製造可能になった。MAPシリーズに大容量ポンプが加われば、さらに顧客の幅が広がることが期待できる。

例えば、近年の売り上げが好調な食品分野では、インスタントカップ麺のフライ用油の移送に使うポンプを納めている。高温の油で、麺の一部など固形物も含むという扱いづらい液体に対して、MAPシリーズの強みが活かされており、大型ポンプの導入は、シェア増加に向けて強力な武器になりそうだ。

野津宜則・島根工場長は「強みである特殊ポンプの製造にさらに特化し、他社のできないことを短納期でやっていきたい」と話す。

■Company Data

株式会社丸八ポンプ製作所



社屋外観

代表者名：吉田友彦

設立年：1948(昭和23)年

資本金：19,360千円

従業員数：102名

主たる業種：はん用機械器具製造業

本社：〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町1-26-6

島根工場：〒699-1104

雲南市加茂町南加茂687-7

電話：03-3667-9071

FAX：03-3669-0467

URL：http://www.malhaty.com